

# パンデミックをジェンダーの 視点から考える

## ～Diversity & Inclusion

第2講座

### 感染症と文明—共生への道

14世紀ヨーロッパのペストは旧秩序(アンジャンレジーム)に変革を迫るものになりました。感染症は社会のあり方がその様相を規定し、パンデミックは時に社会変革の先駆けとなることがあります。またそうした社会変化は、パンデミックが終息した後でさえ続きます。

一方、感染症はそれが「うつる」故に差別や偏見を通して分断を引き起こし、感染した人や社会的に弱い人々を排除してきた歴史を持っています。それはコロナのパンデミックでも繰り返されました。そうした意味で、感染症のパンデミックは医学的なものである一方、社会的なものともなります。そこから何を学ぶか、そんなことを話します。

山本 太郎 Yamamoto Taro

長崎大学熱帯医学研究所教授

長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野主任。熱帯医学ミュージアム館長。長崎大学医学部卒。東京大学医学研究科博士課程修了。ジンバブエJICA感染症対策チームアドバイザー、京都大学医学研究科助教授、コネル大学感染症内科客員助教授、外務省国際協力局課長補佐等を経て、2007年から現職。アフリカ、ハイチ、アメリカに長期赴任経験あり。

著書:『抗生物質と人間』『感染症と文明』『新型インフルエンザ』(岩波新書)、『エイズの起源』(みずす書房)など。

10月27日(金)

18:30~20:00

第1講座

### 『格差の起源』(Galor, O. 2022) における感染症と男女平等に 関する解釈

『格差の起源』の著者 Galor によると「地理的な特性と、人口集団の多様性こそが世界の格差の背後にある最も根深い要因である」。未来志向や教育や技術革新を促し、男女平等や多元主義、差異の尊重を進めるような方策こそが、格差を軽減し普遍的な繁栄のカギを握ると説く本書を、現代日本の立ち位置から解釈します。

小川 寿美子 Ogawa Sumiko

名桜大学人間健康学部教授

名桜大学人間健康学部教授。大阪大学大学院・微生物学研究所(医科学修士)、ベルギー国アントワープ熱帯医学研究所(公衆衛生学修士)、大阪大学大学院人間科学研究科(人間科学博士)。日本医史学会会員。戦後沖縄における保健医療史をまとめた『Okinawa's Post-War Health Recovery and Development』(青山社、2009)を刊行。

9月29日(金)

18:30~20:00

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は女性にとって単なる健康問題ではなく、ジェンダー格差に起因する問題の存在など、女性を取り巻く様々な問題を再認識させる機会となりました。今回の適塾講座では、新型コロナ禍で露呈した問題についてジェンダー・レンズを通して見る重要性を確認し、諸課題についてグローバルな背景を持つ専門家たちに論じていただきます。

コーディネーター: 大谷 順子 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)

\*今回のテーマはSDGsの1, 2, 3, 4, 5, 8, 10, 16に関連します。

場所 大阪大学中之島センター

第3講座

### パンデミックがもたらした イタリア人の女性の アクティブエイジング概念の限界

ヨーロッパでは2012年を「アクティブエイジングと世代間の連帯のためのヨーロッパ年」と定めて、高齢者のポテンシャルを高めることにより結果として「すべての人の質の高い生活」につなげることを目指してきました。超高齢化社会のイタリアでは、2019年ようやくアクティブエイジングの政策を導入した三カ年行動計画が開始されました。しかし、その直後にパンデミックが起きたことで、高齢者は保護すべき脆弱な対象という概念に戻りました。そこでボランティア活動を行う高齢の女性は、アクティブエイジング概念の限界に直面しました。同質的な「高齢者」概念を取り除き、ウィズコロナ時代には高齢者の新しいエンゲージメントの実現に取り組むことを提唱したい。【使用言語: 日本語】

Paola Cavaliere パオラ・カヴァリエレ

大阪大学大学院人間科学研究科特任准教授(常勤)

大阪大学大学院人間科学研究科特任准教授(常勤)。専門はジェンダーの宗教社会学。ヴェネツィア大学日本学修士号取得、東京大学大学院人文社会系研究科入学。2012年に英シェフィールド大学大学院東アジア研究科・東北大学大学院法学研究科国際共同博士号取得。災害レジリエンスとジェンダー研究を行う。日本在住約17年。

11月10日(金)

18:30~20:00



大阪大学  
適塾記念センター



主催: 大阪大学適塾記念センター・適塾記念会

共催: 大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER)、大阪大学ダイバーシティ & インクルージョンセンター(D&I)

後援: 公益社団法人日本WHO協会

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



# 適塾記念会 入会のご案内

適塾記念会は、1952年に創立され、その主な目的は、緒方洪庵や適塾門下生の業績を研究・顕彰すること、そして大阪における学問・研究の伝統を明らかにし、その上に立つ新しい学術・文化の成果を広くお伝えすることにあります。

このような目的のもとに本記念会では、会誌『適塾』、図録『緒方洪庵と適塾』の刊行や適塾門下生調査事業などを行ってまいりました。また、「特別展示」、「適塾講座」を開催し、適塾に関する調査研究の成果を広く一般の方々に公開するとともに、会員の方々を対象とした行事を企画しております。2011年度からは新たに適塾並びに緒方洪庵やゆかりの史跡などを巡る「適塾見学会」も実施しております。

ぜひお知り合いの方々をお誘いのうえ、ご入会いただきますようお願い申し上げます。

## ◎入会されると

会員には「会員証」と会誌『適塾』（年刊）をお送りします。「会員証」は入会された当該年度（3月末まで）有効で、これをお示しいただければ適塾の参観、「特別展示」の参観が何度でもできます。※大阪大学の学生は、適塾の参観、「特別展示」の参観が無料です（要学生証提示）。また、「特別展示」「適塾講座」等本会主催行事についてご案内させていただきます。

## ◎入会されるには

普通会员の会費は、年間1口2,000円で、何口でもお申し込みができます。入会のお申込みは、適塾（TEL:06-6231-1970）または適塾記念会事務局（TEL:06-6850-5016）において受付しております。

## 会場へのアクセス

### 大阪大学中之島センター

大阪市北区中之島4丁目3番53号  
TEL 06-6444-2100 <http://www.onc.osaka-u.ac.jp>

#### 【電車によるアクセス】

- 阪神本線「福島」駅 徒歩約9分
- JR東西線「新福島」駅 徒歩約9分
- JR環状線「福島」駅 徒歩約12分
- 京阪中之島線「渡辺橋」駅または「中之島」駅 徒歩約5分
- 大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅 徒歩約10分
- 大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋」駅 徒歩約16分

#### 【バスによるアクセス】

- 大阪シティバス 大阪駅前バスターミナルより（53系統）  
→中之島四丁目（旧玉江橋）下車 徒歩1分
- （75系統）  
→田養橋 下車 徒歩2分



【適塾】・・・大阪のオフィス街に現存する適塾は、我が国唯一の蘭学塾の遺構です。現在は国史跡・重要文化財として内部を観覧することができます。適塾は、蘭医学研究の第一人者とされる蘭方医緒方洪庵（1810-1863）が1838（天保9）年に開いた塾で、ここでは西洋医学の研究をはじめとして、種痘事業やコレラ治療など、大きな医学史上の業績が生まれました。



## 第16回適塾講座 お申し込みについて

**定員** 各講座50名（申込先着順）

**受講料** 【適塾記念会会員（新規入会者を含む）】 1,000円（各回）  
【一般（非会員）】 1,600円（各回）

**修了証書** 全3回受講された方には、修了証書を交付いたします。

- 申込方法**
- ①下記**申込URL**または**右のコード**を読み取って、フォームからお申し込みください。または**FAX**、**郵送**、**E-mail**にてお申し込みください。受講申込内容を確認した上で、折り返し受講決定の連絡をいたします。
  - ②受講決定の連絡を受けた方は、指定の期間内に、講習料を下記の銀行口座へ、受講者ご本人のお名前でお振り込みください。なお、振込手数料はご本人様負担とさせていただきますのでご了承ください。

**口座名** 三井住友銀行 豊中支店 普通預金 7485209

**口座名義** オオサカダイガクテキジユク  
大阪大学適塾

**適塾講座 申込URL** [https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/form/r5tekijukukouza\\_form](https://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/form/r5tekijukukouza_form)

**E-mail** WEB、FAXからお申し込みいただけない場合は下記申込書の必要事項を、[sympo-info@tekijuku.osaka-u.ac.jp](mailto:sympo-info@tekijuku.osaka-u.ac.jp) まで送信ください。



**FAX** **郵送** 下記「参加申込書」にご記入のうえ、ご送付ください。 \*ご記入いただいた個人情報につきましては、本講座の参加受付の目的以外に使用することはありません。  
FAX: 06-6850-5015 郵送: 〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 宛

フリガナ		<input type="checkbox"/> 適塾記念会会員(会員番号: )
氏名		<input type="checkbox"/> 非会員
住所	〒	電話番号
		FAX
		Eメール
受講希望の講義に <input checked="" type="checkbox"/> 印を入れてください	第16回適塾講座(全3回) <input type="checkbox"/> 全3回の講座 <input type="checkbox"/> 第1講座 <input type="checkbox"/> 第2講座 <input type="checkbox"/> 第3講座	

**開催に関するお願い**

- 講義中の撮影・録音・録画はご遠慮ください（配信を含む）。●著しく妨害になる行為があった際には、退出していただく場合があります。
- 荒天など、受講者や講師等の安全の観点から必要と判断する場合、講義を休講いたします。休講する場合は、適塾記念センターホームページにてお知らせいたします。●休講の場合は、原則として日程を振り替えて講義を行います。なお、振り替えた講義にご欠席される場合にご返金はいたしません。



大阪大学  
適塾記念センター

お申込・お問合せ先／大阪大学共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室  
電話：06-6850-5016（土日祝を除く 9時～17時）  
FAX：06-6850-5015 E-mail: [sympo-info@tekijuku.osaka-u.ac.jp](mailto:sympo-info@tekijuku.osaka-u.ac.jp)